

# 日本図書館情報学会会報

No. 141

2011年4月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail: tnozue@ephs.aoyama.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

## 会長再任にあたって

根本 彰 (東京大学)

まずはこのたびの東北関東大震災(東日本大震災)で直接被害にあわれた、あるいはご家族、知人の方に被害にあわれた方がおられる会員の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。これを書いているあいだにも被害の範囲と規模がどんどん大きくなって身のすくむ思いをしています。図書館は文明の記録を保存するという意味で災害に抗する歴史的使命をもった機関です。現在も復旧に携わっておられる会員あるいは図書館関係の方々にエールを送らせていただきます。

さて、はからずも今期も会長職をお引き受けすることになりました。お引き受けするにあたり、会員の皆様には今期の抱負と決意をお伝えしなければならないのですが、その前に2点申し上げたいことがあります。

一点目は、前期の学会運営と財政状況についてです。何度か申し上げたことですが、前期が始まってまもなく学会の財政危機が明らかになりこれは比較的早く切り抜けることができたのですが、期間中は学会誌の刊行や研究集会の開催を中心に学会として最低限のことを粛々と実行したという状況でした。そのためもあってこの規模の学会としてはかなり多額の繰越金が生じており、これは今後の新しい事業のために用意されたものとも考えることもできます。

前期に開始した新事業として図書館情報学検定試験があります。昨年度に初めて有料公開制で実施したところ、270人程度の申し込みがありました。これは学会単独で実施するにはとても足りない受験者数ですが、有料でもこの程度確保できたという意味では今後にも期待をもたせる数字でもあります。この事業をどう継続するのかは、今期最初の重要な判断の機会になります。

二点目は、昨年度後半に行われた役員選挙に関してです。その結果は前回の会報とともに正会員の方に配布された選挙管理委員会通知のとおりです。電子投票が実施され、有効投票者が前回の2倍になりました。たいへんな実務をこなされた平久江祐司委員長を初めとする選挙管理委員会の皆さんには御礼申し上げます。今回の選挙で気になったのは、上位得票者のなかで就任辞退者がたいへん多かったという事実です。それぞれの事情があつての選択ですからそれ自体をとやかくいうことはできないのですが、会員の総意が最終的な役員人事構成にうまく反映できたのかどうか問われることになり、選挙の方法にも何らかの検討の必要があるかもしれないと感じさせられました。

こういうなかで、新しい執行部には、今までになく幅広い大学から新進気鋭の常任理事が選任されました。このことを生かしながら3年間の学会運営をしようと考えていますが、とくに次の4点に言及しておきます。

第一に基本的な学会機能の継続です。研究支援機能の中心にある学会誌の発行、研究集会の開催についてはこれまでの方針を継承します。前期の執行部で話題になったことの一つに、研究集会での発表件数はそこそこあるのに学会誌への投稿が少ないことがありました。その理由を探り、多くの会員が進んで発表し投稿へと進めるように整備したいと考えます。

第二に、今回の大災害はこれまでの自然と人間の関係、技術的な安全基準また情報の信頼性などについて大きな見直しを要求するものになっており、図書館情報学に関わるものでも図書館における被害と復興および対策、図書館経営のリスク管理、緊急時における市民への情報提供、マスメディアとネットワーク情報のアクセス性と信頼性、といった点で新しい課題を突きつけるものです。学会としても会員の皆様の叡智を結集して、これらに取り組むための機会の創出ができたかと考えます。

第三に、図書館情報学教育に関する事業を立ち上げたいと考えています。前期の検定試験準備検討委員会からの引き継ぎ事項として、検定試験の準備を継続するだけでなく、これが図書館情報学教育強化という目的の手段であったことに立ち返って図書館情報学教育全体の再検討が必要であるとの提案がありました。幸い財政的に余裕が出てきたこともあり、2012年からの大学における司書養成の新科目表への移行の機会に、図書館情報学教育との橋渡しをうまくできるような事業を計画したいと思います。

第四に、上記以外の事業として、研究委員会で懸案になっていた学会出版物「フロンティアシリーズ」の後継プロジェクトの検討、以前に学会で編集していた『図書館情報学用語辞典』新版（第4版）の編集開始、A-LIEP等の機会を利用した国際交流事業の継続、研究助成の継続、学会賞・学会奨励賞・学会貢献賞の継続を挙げておきます。また、最終年度の2013年は学会創立60周年にあたりますが、このときには小規模でもこれを記念した行事を実施したいと考えております。

以上のように、今期の学会運営は従来のものに加えて災害対策関係のもの図書館情報学教育関係の事業を加えることを予定しています。具体的に何を実施するのかについては、今後常任理事会で担当の常任理事を決めて提案していきます。会員諸兄姉にあたられましては、次の通信総会の際にこのあたりのことについて、率直なご意見をいただけるようお願い申し上げます。

### 2011年度～2013年度常任理事会の役割分担（一部）

会長・図書館情報学教育特別委員長 根本彰（東京大学）

副会長・学会賞選考委員長・図書館情報学教育特別委員会 図書館情報学教育担当 山本順一（桃山学院大学）

常任理事・研究委員長 安形輝（亜細亜大学）

常任理事・編集委員長 松林麻実子（筑波大学）

常任理事・国際委員長 三輪眞木子（放送大学）

常任理事・図書館情報学教育特別委員会 検定試験担当 須永和之（國學院大學）

常任理事・図書館情報学教育特別委員会 図書館情報学教育担当 石田栄美（九州大学）

常任理事・総務委員長・事務局長 野末俊比古（会長指名常任理事，青山学院大学）

\*ここに示した会長指名常任理事および常任理事の役割分担については、正式には5月の理事会で承認されて決定されます。

### 2011年日本図書館情報学会春季研究集会（ご案内）

会員各位

日本図書館情報学会会長  
根本彰

2011年春季研究集会を、東京学芸大学小金井キャンパスにおいて、下記の要領で開催いたします。会員の皆様には奮ってご参加くださいますよう、宜しく願いいたします。

参加を希望される方は、春季研究集会事務局宛に、所定の期日までにお申込みくださいますよう、お願いいたします。

記

日時：2011年5月14日（土） 10:00～17:45

場所：東京学芸大学 小金井キャンパス

<http://www.u-gakugei.ac.jp/10sougou/01general/z03.html>

住 所：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

最寄り駅 JR 武蔵小金井駅・北口より 京王バス〔5番バス停〕【小平団地行】約10分

学芸大正門・下車 徒歩約5分、徒歩の場合は約20分

JR 国分寺駅より徒歩約18分

参加費：正会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 3,000 円

申込締切：2011 年 4 月 30 日（土）

申込先：下記の事務局まで、「氏名」、「氏名のよみ」、「所属」、「連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）」を明記の上、電子メール、もしくは、郵送にて、お申し込みください。電子メールの際は、件名に「【参加申込】」とお書きください。

提出先：

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学総合教育科学系

山口源治郎研究室内

日本図書館情報学会春季研究集会事務局

e メールアドレス：jslis2011s@gmail.com

※なお、「氏名」、「所属」については、当日配布する「研究集会参加者名簿」に記載させていただく予定です。記載に不都合がおありの際は、その旨お知らせくださいますよう、宜しく願いいたします。

#### 2011 年春季研究集会（東京学芸大学）プログラム

開始時刻	第一会場	第二会場
10:00～ 10:30	平山陽菜（筑波大学） 図書館で働く非正規職員の実態調査	佐藤翔・数間裕紀・逸村裕（筑波大学） 学術論文の OA 化に対する市民の需要
10:30～ 11:00	佐藤雄大（明治大学） オルテガの「生」概念における司書像：司書の教養をめぐって	匂坂佳代子（筑波大学） 中小規模の理工医学系国立大学における電子ジャーナルの利用動向調査
11:00～ 11:30	新藤透（山形県立米沢女子短期大学） 明治・大正・昭和初期の図書選択論について：図書館学書を中心に	宮田洋輔・上田修一（慶應義塾大学）、谷口祥一（筑波大学）、横山幸雄（国立国会図書館）、鴫田拓哉（つくば国際短期大学）、向當麻衣子（慶應義塾大学） FRBR における「著作」実体としての日本の古典著作：FRBR 研究会の取り組み II
11:30～ 12:00	三浦太郎（明治大学） CIE 情報課長ドン・ブラウンと東京 CIE 図書館	谷口祥一（筑波大学） 総合目録データに対する機械的書誌同定と著作同定の試み：ゆにかねっとレコードによる実験
12:00～ 13:00	昼食（60 分）	
13:00～ 13:30	浅石卓真・井田浩之・金昭英・根本彰（東京大学） 探究型学習における資料利用の実態：「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品の分析	石田栄美（駿河台大学）、安形輝（亜細亜大学）、宮田洋輔（慶應義塾大学）、池内淳（筑波大学）、上田修一（慶應義塾大学） 大規模日本語 PDF ファイル集合からの学術論文の自動判定

13:30～ 14:00	金昭英・井田浩之・浅石卓真・根本彰（東京大学） 学校教育課程における図書館を活用した探究型学習：千葉県袖ヶ浦市の事例分析	栗山正光（常磐大学） 新聞記事に出現する学術雑誌タイトルの傾向：朝日新聞の場合
14:00～ 14:30	野口久美子（大妻女子大学） 高校教員の読書指導についての認識と指導の実態：神奈川県立高校の教員を対象とした調査より	鈴木裕・芳鐘冬樹（筑波大学） 分類に着目した特許引用の分析：引用特許の分類分布の概況および被引用数との関連
14:30～ 15:00	上岡真紀子（慶應義塾大学） 高校生の研究論文作成プロセスにおける支援の影響	池内淳（筑波大学），安形輝（亜細亜大学），大谷康晴（日本女子大学），大場博幸（常葉学園短期大学） 所蔵資料の類似性に基づく大学図書館の類型化
15:00～ 15:30	庭井史絵（慶應義塾普通部） 新学習指導要領にみる学校図書館利用指導の可能性：中学校における教育実践モデルの検討	大島薫・村本聡子（国立国会図書館） 大量脱酸性化処理への取組み：国立国会図書館での試行結果を中心に
15:30～ 15:45	休憩（15分）	
15:45～ 16:15	大谷康晴（日本女子大学），安形輝（亜細亜大学），安形麻理（慶應義塾大学），杉江典子（駿河台大学），橋詰秋子（国立国会図書館） 公共図書館のヤングアダルトコーナーの蔵書構成：2007年出版物を対象とした調査	仁上幸治（帝京大学） 図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成：日本版ガイドラインの作成過程を中心に
16:15～ 16:45	和気尚美（筑波大学） デンマークの公共図書館におけるイスラム系移民へのサービス：コペンハーゲン市立図書館ナアアブロー図書館の移民対象プログラムに焦点をあてて	立石亜紀子（慶應義塾大学） 日本の大学図書館におけるラーニング・コモنزの実態と傾向
16:45～ 17:15	松本直樹（大妻女子大学） 大学司書養成課程における受講者のニーズに関する調査	長谷川豊祐（鶴見大学図書館） 大学図書館の現状分析のための枠組みの試案
17:15～ 17:45	前田知子（政策研究大学院大学） 第4期科学技術基本計画に見る科学技術情報政策：第3期からの連続性と相違点	小泉公乃（慶應義塾大学） 米国図書館の組織形態と業務の変遷

\*所属の表示は，教職員（常勤／非常勤）・院生・学部生等を問わず，「機関名」（「大学」等）のみとしてあります。

## 研究助成金の公募

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

### 記

#### 1. 助成額

総額 30 万円を限度として、1 件ないし 2 件に交付予定。

#### 2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。なお、科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので、例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば、申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2012 年 3 月末まで研究を終了させていること。
- c. 2012 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし、領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内（2015 年 3 月まで）に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

#### 3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に掲載する。

#### 4. 応募方法

別紙「2011 年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページから MS-Word ファイルおよび PDF ファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

#### 《郵送先》

〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10

亜細亜大学 安形輝 気付

日本図書館情報学会研究委員会

《電子メール》 [agata@asia-u.ac.jp](mailto:agata@asia-u.ac.jp)

《学会ホームページ》 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/index.html>

#### 5. 応募締切

2011 年 6 月 1 日（水）必着

2011年度 日本図書館情報学会研究費助成申込書

年 月 日提出

研究代表者	ふりがな 氏名	所属		会員種別  正会員 学生会員			
連絡先	〒  ----- TEL FAX  E-mail						
研究分担者 (共同研究の場合のみ、研究代表者以外を記入すること)	ふりがな 氏名	所属	役割分担 (研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。)				
研究題目							
申請金額	円 (限度額 30 万円)						
内訳 (円)	資料購入費	機器購入費	印刷複写費	旅費	消耗品費	謝金	その他
研究の目的 (この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。)							

**研究の意義** (この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について, 具体的に記入してください。)

**研究の実施計画**

(研究目的を達成するための計画・方法について, ①これまでの準備状況②本研究助成金との関連性, の二点を含めて具体的に記入してください。)

**研究成果の発表時期 (方法)**

**特記事項** (※例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等, この助成が必要な特別の事情などがあれば, 記入してください)

## 学会賞及び学会奨励賞候補の募集

2011年度の日本図書館情報学会賞および奨励賞の候補を下記のとおり、募集いたします。明朗で透明度の高い選考過程とするために、またこれもひとつのアカデミック・フェスティバル、お祭りですから、会員各位の選考過程への積極的参加を歓迎します。応募論文を含む下記の選考対象論文につき、自薦・他薦を含む推薦をお願いいたします。そのときには、氏名を明示のうえ、簡潔で結構ですから、推薦理由を付記してください。

### 記

#### 1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞ならびに副賞賞金
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞ならびに副賞賞金

#### 2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞 本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞 本学会の正会員・学生会員

#### 3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞  
正会員によって2009年度もしくは2010年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞
  - a. 『日本図書館情報学会誌』第56巻第2号から第57巻第1号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
  - b. その他の研究業績については、学会賞に準じ、本学会正会員により推薦されたもの。

#### 4. 選考

会員諸氏の推薦等を考慮しつつ、公表されたメンバーより構成される学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

#### 5. 授賞

2011年度臨時総会において授賞式を行う。

#### 6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞(奨励賞) 応募(推薦)用紙」(所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい)を7月15日(金)までに必着で郵送ないしはe-mailすること。受信したことを連絡いたします。

なお、応募者・推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を明らかにする範囲で、匿名での推薦過程・事情には一定程度言及することがあり得るので、責任をもって推薦すること。

- a. 著者名
- b. 著作名(書名, 論題名, 等)
- c. 出版社/収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募(推薦)者連絡先(e-mail address を明記すること)
- e. 応募・推薦理由



7. 郵送・e-mail 先：〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1  
桃山学院大学経営学部 山本 順一 気付  
(e-mail: june01@andrew.ac.jp)  
日本図書館情報学会賞選考委員会

## 各委員会・事務局から

### 学会事務局移転のお知らせ

学会事務局の連絡先が本年度より変更になりました。会員の住所・所属等の変更、お問い合わせなどのご連絡は下記までお寄せ下さい。なお、事務局長には会長指名常任理事として、野末俊比古（青山学院大学教育人間科学部）が就任いたしました。

#### <学会事務局連絡先>

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室  
日本図書館情報学会事務局  
E-mail: tnozue@ephs.aoyama.ac.jp

### 『日本図書館情報学会誌』投稿先変更のお知らせ

本学会発行の『日本図書館情報学会誌』では、投稿先が移転いたしました。新たな投稿先は下記の通りとなりますので、ご確認ください。なお、編集委員長には松林麻実子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）が就任いたしました。編集委員会では、随時投稿を受け付けております。会員の皆さまの投稿をお待ちしております。

#### <原稿送付先・連絡先>

〒305-8550  
茨城県つくば市春日 1-2  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科  
松林麻実子研究室気付  
日本図書館情報学会編集委員会  
mamiko@slis.tsukuba.ac.jp

### 2010年度までの会費納入のお願い

2010年度までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入ください。  
下記、振り込み先まで、振り込みください。

#### 【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759（口座名義＝日本図書館情報学会）  
ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759（口座名義＝日本図書館情報学会）

### 会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（下記 URL からダウンロード可能）にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書について：[http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership\\_3.html](http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html)

会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

### 退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にてご連絡ください。2010 年度末の退会届け出は、2011 年 5 月 31 日が締め切りです。2010 年度までの会費はお支払いください。

### メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。本学会、ならびに、他団体等からのお知らせのうち、速報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、tnozue@ephs.aoyama.ac.jp まで電子メールにて、ご連絡ください。

### 事務局受領資料について

- ・佐藤郁哉，芳賀学，山田真茂留. 『本を生み出す力：学術出版のアイデンティティ』新曜社，2011年2月，568p.
- ※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定，ならびに，学会賞選考の際の参考とさせていただきます。